e-BEEF NEWS From A North Pasture

e-ビーフNEWS 北の牧場から

月刊情報誌
No.97

January 2022

発　行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0351
北海道河東郡音更町字然別
北5線西25番地2
FAX 0155-40-7301

十勝の正月

あけましておめでとうございます

雪のない年越しでした。少し降った雪が畑にまだらに残り、後は黄土色一面の風景です。日本海側は、例年にない大雪とは相反しています。寒さだけは例年通り一段と増して−10℃以下に。日中でもマイナスの真冬日となっています。牧場は、市内に比べ5℃低く20℃超すこともあり、水飲み場はガンガンに凍り付きます。朝から解凍バーナーと熱湯やかんを持ちとけれ溶けれと念じて作業しています。牛舎パドックはつるんつるんですってんころりん。足を滑らして後ろ足が八の字に広がり又裂きになることもあるので注意喚起。牛たちの顔や体毛にも、樹氷ならず牛氷で1本1本の毛に霜が付き、黒毛が白髪に代わっています。まだまだ2月中旬まで続く寒さ、がんばらねばと正月を迎えています。

活動のお知らせ

12/10　**道総研畜産試験場　肉牛グループで事務局会議を行いました**

1. シンポジウム総括　事業終了報告書　別添
2. e-びーふ申請　北大静内研究牧場の現状報告確認　条件は満たされており認証する
3. 飼養技術研修会の開催検討

来年1, 2月予定　**わかば荘、畜大使用について**

内容　日本獣医生命科学大学柴田氏、道総研畜産試験場　糟谷氏

NEWSばか読み

- 生産年齢人口13.9%減少 生産性改善が課題12/1：年寄りも労働力
- 農林水産省 19年度食品ロス推定570万tと最低 30万t減
  12/1：でもコメの生産量に匹敵
- 食肉大手 販売先にECやドラックストアに新市場開拓12/1：販路多様化
- 農作業 アプリ活用で1日単位アルバイト急増12/3：労働の多様化
- 21年度大豆作付が大幅増加 小豆からの転換12/3：変化は早い
- 農林水産省 農地所有法人の農家外出資割合50%超え許可検討
  12/4：着々
- 農産食品輸出21年1兆円突破 牛肉日本酒けん引
  12/4：ついに輸出産業
- 青果産地で出荷抑制の動き 相場低迷、燃料高で加温控え
  12/2：資材費アップ影響が
- 日ハム アニマルウェルフェア国際基準で生産方針策定
  12/2：最大手が動いた
- 十文字大学 トマト含有リコピンに食物アレルギー抑制機能
  12/6：本来の機能性追求
- 定額売のコンビニで値引き店が倍増 食品ロス低減に
  12/6：経営の柔軟性
- 輸入牛肉 11月昨対比14.8%減 世界相場高騰12/8：自然抑制国産回帰
- 六甲バター 規格外チーズ年間600Tを堆肥に12/9：使い道
- 農研機構 カメラ捕縛で害虫をレザー光狙撃
  12/10：鳥獣被害応用可能か
- 11月外食売上高 業績回復が足踏み12/10：時間がかかる
- 環境省 20年温室ガス排出11.5億t5.1%減 コロナ禍で経済活動低迷
  12/11：一番効果が上がる
- 宮崎 豚熱 青森 鳥インフル発生12/14：どこもでも起こりうる
- 農林水産省 畜産クラスター事業に飼料増産枠優先12/14：
- 羊肉 輸入価格が年初から4割高12/14：ジンギスカンが高嶺の花に
- 秋田大 水稲種子消毒に弱酸性次亜塩素酸で有効12/15：薬剤使わず
- 農林水産省 脱粉在庫2万tの飼料化用に支援
  12/16：輸出や海外支援にできないの
- WHO20年6月に北極圏で36℃を記録 気候変動ペース世界平均の2倍
  12/16：待ったなし
- 配合飼料 全農1-3月2000円値上げ12/18：資材費高値止まらず
  12/18：厳しく
- 生乳生産11月3.1%増 北海道4.4%全国で伸びる12/20：止まらず
- コンビニ11月売上 昨対1.1%減 客足戻らず12/21：根本問題
- 農林水産省 酒類のJAS有機認証へ法改正検討 輸出政略踏まえ
  12/22：世界要求
- 農林水産省 22年度予算2兆3千億 みどり戦略上積み
  12/23：有効か検証
- 日本フードサービス協会 22年度28兆円割れ12/23：厳しいな
- 農業総産出額20年0.4%増8.9兆円 巣ごもり需要大
  12/25：試される農業
- 農林水産省 全食品に価格転嫁へ適正取引ガイドライン12/27：意図は
- 肥料原料入手困難 最大輸出国中国国内供給優先
  12/29：自給化比率向上必須
- 北海道酪農にアニマルウェルフェア普及進む 22年から肉牛認証へ
  12/30：これから
- 農作業長靴 蒸れる黒色から白へ メーカー開発着手
  12/31：汚れ落とさんと

東京直近NEWS(12/29　Shi-REPORT)

ホルス

ホルス相場は上げ基調で推移。
出回り頭数が少なく慢性的な頭数不足と上位部位の引合が強いことから相場は強気状態。
特に年内はロイン、カタロースと上級部位が引合強く輸入物の不足からもその勢いを押し上げた。
年明け以降は販売不需要期から引きは不透明、頭数の不足は続くことから、相場は強気を維持することが予測される。

経産牛

経産牛相場はやや下落基調で安値で年内終了。
パーツについては外食・加工向けが回復傾向から引きは一定を維持。
輸入物の不足感から、代替需要の可能性あるものの、数量面で輸入に置き換えは不可。
年明け以降の相場動向と市況に注視。
挽き材の荷動きは鈍く、価格も下落傾向から次年度の量販の動向にアンテナを。

左先生の畜産学研究NEWS

1.日本畜産学会第129回大会講演要旨(2021.9) 一般講演

1)Ⅳ15-05 給与飼料の違いが有機的管理で生産される日本短角種における筋繊維型構成割合に与える影響(原島佑紀他、北里大)

SDGsへの関心と平行してJAS有機認証の肉牛飼養が注目され、その飼料形態は穀物主体と牧草主体があります。有機的管理で日本短角種牛を肥育し、大腿二頭筋の筋繊維型の割合などに及ぼす飼料形態の違いを検討しました。牧草主体飼養の筋肉では速筋型が少なく、脂肪滴含有筋繊維の発現が多く見られました。

2)Ⅳ15-08 黒毛和種メタン産生高低牛の栄養生理的な特徴(金民知他、東北大院農)

畜産におけるメタン産生の大部分はルーメン微生物の動態由来ですが、黒毛和種肥育牛のメタン産生量の高低2グループの栄養生理学的特徴を検討しました。高メタン産生牛ではメタンのエネルギー損失補填のためケトン体やアミノ酸を利用する代謝機能が高まっていました。

3)V15-01 牛肉のイノシン酸等核酸関連物質、筋繊維型割合、官能試験に及ぼす品種の影響と形質間の相関(阿部朋樹他、東北大院農)

牛肉の美味しさに係わる要因には核酸関連物質、筋繊維型などがあり、黒毛和種、日本短角種、褐毛和種、ホルスタイン種、交雑種およびメキシコ産海外種のリブロース肉の核酸関連物質と筋繊維型割合および官能検査の品種間差を検討しました。筋繊維型割合の品種間差は核酸関連物質や肉の物理性、味や香りに影響していました。

4)V15-06 黒毛和種牛肉における調理法の違いが食味に与える影響について(西村雅美他、鳥取畜試)

黒毛和種牛肉を異なる調理法(煮肉法:80℃2分塩水加熱と焼成法:220℃ホットプレート上で片面づつ60,90秒加熱)で処理し、分析型官能評価試験で食味を比較しました。両調理法による官能評価値には有意な正の相関があり、いずれも肉質等級5では3,4より高い評価点でした。

2.日本畜産学会報Vol.92 No.4,(2021.11)

枝肉格付け成績、モノ不飽和脂肪酸割合および小ザシの評価が兵庫県産黒毛和種の枝肉単価に及ぼす影響(小浜菜美子他、兵庫県北部農技セ)

兵庫県産黒毛和種の枝肉単価への影響要因を分析するために格付け成績とモノ不飽和脂肪酸(MUFA)および小ザシの評価値を加え、最小二乗分散分析を行いました。脂肪交雑の細かさ指数はBMSno.10以上、MUFA割合はBMSno.6-9の枝肉に影響し、MUFA割合と細かさ指数を高めると枝肉単価が上がると思われました。

3.畜産技術799号, 2021.12

1)技術情報1:牛における血斑発生の原因と対策−特に対米輸出用食肉処理施設で注意すべき点−(入江正和他、家セ)

牛肉の血斑は筋肉のカット面にみられる出血痕で毛細血管の破裂が原因とされ、アニマルウェルフェアの観点からも屠畜施設でのスタンニング、ステッキング処理の短時間化などストレス軽減が必要です。和牛などの対米輸出用食肉処理施設では要項が、牛体の血液汚染を防ぐために懸垂後60秒以内の放血方式を求めています。

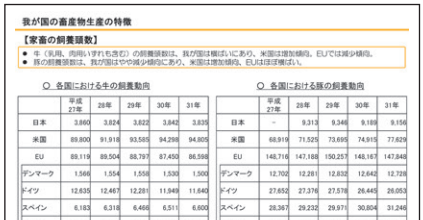
2)海外統計DATA:世界の2022年食肉需給見通し「Livestock and Poultry:World Markets and Trade」(2021年10月12日)(木下良智(公財)日本食肉技開セ)

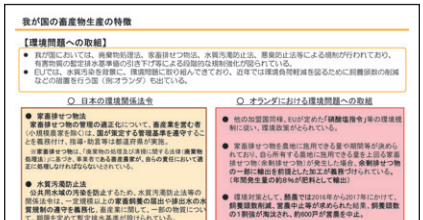
牛肉「世界の生産量」2022年は豪州、ブラジル、インドの生産増加は1%(肥育頭数、枝肉重量の増加)、米国はと畜頭数減で-3%。「世界の輸出」アジアの需要増特に中国。ブラジル→中国、NZは輸出減。中国が世界の食肉貿易をけん引し続けています。中国の牛肉輸入量は8年連続で増加。

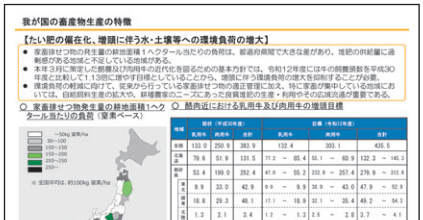
資源循環型肉牛生産シンポジウム 2021

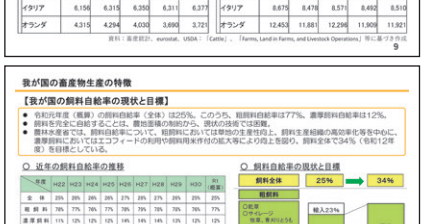
基調講演「持続的な畜産物生産を目指して〜みどりの食料システム戦略〜」　全4回シリーズ②

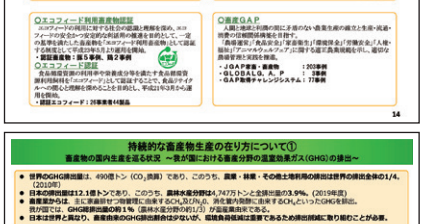
北海道農政部生産振興局畜産振興課主幹　叶 拓斗氏











転載・再利用は固くお断りします